



インスピレーションになる

# 帯広西ロータリークラブ

# 会報

第2274回例会

2019.5.30



■RI第2500地区テーマ■

行動するロータリー、つながるロータリー  
～ロータリーの未来を考えよう～



■クラブ・テーマ■

常識を疑い、可能性に挑戦する

## ゲスト紹介

帯広畜産大学 大学院生博士課程  
ペルポラゲ サマンティ ワトゥサラ 様  
(生物資源科学専攻)  
イ ゼスン 様 (畜産科学専攻)  
ハン ユイ 様 (畜産科学専攻)

## 会長報告

佐藤 聡 会長

皆さん、こんばんは。

5月19日に当クラブと上士幌と清水との3クラブ合同例会が合計41名の参加者で開催されました。前段で行われましたパークゴルフ大会は、和気あいあいの環境をつくるのに大変効果的だったと思います。それに触発されたように、上士幌の会長からは新しくなったナイトハイ高原牧場のナイトテラスで合同例会を開催したいとお話もありました。会長挨拶の中で、IMの運営協力もお願いして参りましたが今後さらに3クラブの連携が深まることを期待しております。

さて、残すところ例会も5回となりました。一年間を通して何かを伝えたいと思い様々な言葉を紹介させていただきました。その言葉の数は前回までに31となりました。

「たったひとつの言葉が心を変える

心が変われば行動が変わる

行動が変われば結果が変わる」

果たして、何かを感じて頂くことは出来たでしょうか。今日は言葉ではなく、「5羽のカモメ」というお話を紹介させていただきます。

『ある港の岸壁に5羽のカモメが停まっていた。』

その中の1羽が大きな志を持って飛び立とうと決意しました。さて、港には何羽のカモメが残っているでしょう。』

この話の意図は、「どんなに固い志を持っても行動に移さなければ状況は何も変わらない」と云う事です。更に、人間であるならばその志を言葉に出した時、同じ思い

を持った人間が集まり、その志を実現するための様々なアイデアが湧いてくる。そして、一番大切なのは「その夢に向かって行動を起こすこと」だと思います。

帯広西ロータリーが来るべき50周年に向けて更に成熟したクラブとなるために理想を語り合い、同じ志を持ち行動を共にしロータリアンの憧れのクラブとなれるよう期待しております。

以上、簡単ですが会長挨拶とさせていただきます。

## 会務報告

小谷典之 幹事

①帯広東RC、創立35周年記念式典開催のご案内

日時 6月14日(金) 午後3時

場所 とかち館

※尚、6月11日(火)の繰下げ例会と致します。

②帯広西RC、年度末最終夜間例会開催のご案内

日時 6月27日(木) 午後6時30分

場所 北海道ホテル

※スポーツ大会の詳細は分かり次第記載いたします。

③各ロータリークラブ、年度末最終夜間例会開催のご案内

・帯広南ロータリークラブ

日時 6月24日(月) 午後6時30分

場所 北海道ホテル

・帯広東ロータリークラブ

日時 6月25日(火) 午後6時30分

場所 ホテル日航ノースランド帯広

・帯広ロータリークラブ

日時 6月26日(水) 午後6時

場所 ホテル日航ノースランド帯広

・帯広北ロータリークラブ

日時 6月28日(金) 午後6時30分

場所 ホテル日航ノースランド帯広



会長 佐藤 聡  
幹事 小谷 典之

副会長 内海 仁司  
副会長 渡部 省一

会場監督理事 田中 耕吾  
プログラム委員理事 谷脇 正人

発行：広報委員会  
委員長 菊池 俊博 (副)松田 貴史



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)  
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

## ニコニコ献金

米田慶司 親睦委員

太田 豊 会員

次女が大学進学、長女が大学院を卒業し、7月より京都交響楽団に採用となりプロの音楽家としてデビューすることになりました。やっと仕送りをストップ出来そうです。



伊東 肇 国際奉仕委員長

本日担当例会です。あたたかく迎えてあげてください。

工藤 正宏 会員

結婚記念日に夫婦で札幌ドーム観戦してきましたところ、インギのインターバルで当日の来場者の記念日をお祝いする“ハッピーアニバーサリー”というコーナーで『1,856人』からお祝いいただきました。3塁側ステージに夫婦で登場した姿が大型ビジョンに映し出されスタジアムパーソナリティーの高橋佑奈ちゃんのインスタでも紹介していただき、忘れられない結婚記念日となりました。ただし試合は負けました・・・。

尾藤 輝幸 会員

5月19日3クラブ合同例会パークゴルフ大会で優勝しました。

茨木 雅敏 会員

先日の3クラブ合同例会でのパークゴルフ大会で準優勝しました。メンバーに恵まれたかどうかはわかりませんが、柳沢・松田・北川会員ありがとうございました。

横山 明美 会員

4期目の当選ありがとうございました。今後共よろしく。

鎌田 裕樹 会員

娘の所属する早稲田大学卓球部が春季の関東リーグで4期連続優勝を達成しました。また娘は2期連続でMVPを受賞しました。

近藤 真治 会員

一時世間を騒がせた商工中金でしたが、そのユーザの若手経営者の会、帯広商工中金ユース会の代表幹事に就任いたしました。金融機関とのお付き合いの仕方、金融機関の企業評価の方法、人脈増強、他地域の市場経済調査など企業経営に非常に役立つ事業や真面目な勉強会を行っております。当クラブの若林、大友会員はOB会員として、立崎会員、谷脇会員は現役会員として所属しています。企業経営にとっては切っても切り離せない金融機関との関係ですが、新規金融機関との取引等をお考えの方は、担保としてご自身(55歳まで)もしくは後継者の入会をお考え下さい。

米田 慶司 会員

ニコニコ献金を発表させていただきました

ニコニコ 献金	5月30日	18,000円
	累計	493,000円 (5月30日現在)

## プログラム

### 「十勝在住の留学生の視点から、十勝で実践できる国際交流について考える」



#### 帯広畜産大学 大学院生博士課程

ペルポラゲ サマンティ ワトゥサラ 様(生物資源科学専攻)

イ ゼスン 様(畜産科学専攻)

ハン ユイ 様(畜産科学専攻)

伊東 肇 国際奉仕委員長

皆様こんばんは。担当例会も今日で最後の3回目となります。今年度の担当例会を振り返ると、1番最初に過去10年西クラブの方が活動してきた、モンゴルの活動を総括するというので、スライドを使用し、あと小林さんに来て頂いて振り返りました。

次に、新しい国際交流とはどのようなものなのかを考えていくにあたって、現在トロント大学に通っている娘にテレビ電話し、国際感覚や国際交流を深めるのに、どのような素養や考えがあったら良いかなどを相談させていただきました。色々としんどいことを言ったと思いますが、カナダは人種のるつぼと言われているように、気軽に街に出る

と留学生や旅行者などたくさんの外国人が入り乱れて楽しく暮らしているそうです。それを知った上で、今後国際交流をどのように行っていこうと考えた時に、今の帯広は畜産大学があり、そこには約80名弱の留学生も滞在しています。また、他の地域には無いジャイカという拠点もあり、多くの外国の方が来ています。他の地域と比べてもそういう方々が多いのにも関わらず、街中に来て気軽に触れ合う機会も少ないと感じます。何故気軽に街に出ることが出来ないのか、理由が分かれば良い国際交流が進むのではないかと思います。

実は畜大に足を運び、3名の方を推薦してロータリークラブの会でプレゼンをしてほしいとお願いしたところ、快く引き受けてくださいました。1人5分程度となりますが、ス

ライドを使用して話をして頂きます。事前に、国際交流関係の先生も含めて3名の方と一緒に話をし、今日の資料にも一通り目を通してありますが、僕の方からは何を話してほしいということは明確には伝えていません。ただ、先ほど伝えた『街に出て来て国際交流を持つ』上で、実際に感じている何か難しいことや障害があるのかをこの場で伝えて欲しいとお願いしました為、僕が思っていた結論に至らず、全然違うものになるかもしれません。しかし、それが生の声だと思いますので今日は留学生の方々がどんな気持ちで日本で暮らしているのかを聞いて頂き、締めさせてもらいたいと思います。

これから、1人ずつプレゼンをして頂きます。母国語・英語・日本語の3カ国語を話すことが出来ますが、もしかすると日本語が分かり辛い事があるかもしれません。その場合は3人で助け合って、もしくは僕が分かるのであれば手助けをしたいと思いますので、温かい目で見て頂きたいと思います。

### 台湾人 ハン ユイ 様(畜産科学専攻)



皆さんこんばんは。まず初めに、簡単な自己紹介をさせていただきます。ハン ユイと申します。台湾出身で台湾の大学を卒業した後、自分自身が専門的な知識が不足していると深く感じていたので、去年の6月から研究生として帯広に来ました。その後、大学院の試験を受け、今年の4月から大学院に入りました。

今日は留学生として、あまり都心や駅の周りに行かない原因を、自分の観点や状況を含めて話したいと思います。都心に行かない理由は人により異なりますが、留学生にとっては、時間、生活費、交通手段、情報、友達が大きな5つの理由だと思います。

私にとって1番大きな原因である時間から説明します。先ほど言った通り私が日本に来た理由は、専門知識を学ぶ為です。私の日常は、勉強や研修をする為にほぼ研究室にいて、あまり実家以外の遠いところには行きません。しかしこれは私がちょっと特別な状況なので、私と同じく忙しい留学生はそんなに多くないと思います。

次は生活費についてです。私は毎月100,000円の奨学金をもらっていますが、家賃や学費等の日常の支払いがあり生活がギリギリなので、日常はあまり外食に行かずほぼ自炊です。奨学金をもらっていない留学生も沢山いますが、彼らは自由時間にバイトを入れてお金を稼いでいるとよく耳にします。それにより、都心に行くお金や時間がない場合が多いと考えられます。

次に交通手段についてです。私の場合は車を持っているのでどこに行くにもそんなに不便ではないですが、車を持っていない留学生も沢山います。彼らが都心に行く方法は自転車、またはバスしかありません。自転車はお酒を飲んだら乗れないし、帯広の道は坂も多いので少し大変だと思います。バスはお金が掛かり最終便の時間も早い為、交通手段は留学生たちが都心に行かない重要な理由の1つだと思います。

情報についてです。これは私がよく見る十勝エリアのお店等の情報を載せるホームページです。これは外国人向け、台湾人向け、日本人向けですけど、都心での活動のメッセージが少ないです。多分いろいろな活動を行っていて、知らないこともあるけど、興味があっても行けない可能性が高いです。

最後は、留学生だけではなく私周りの日本出身の畜大生もあまり都心に行かないイメージがあるので、彼らにその原因を聞きました。すると、駐車場などの様々な理由を教えてくださいました。友達もあまり行かない為、一緒に行くできないことも留学生たちが都心に行かない原因の1つだと思います。以上で発表を終わらせて頂きます。ご清聴ありがとうございました。

### 韓国人 イ ゼスン 様(畜産科学専攻)



こんばんは。韓国から来ました、イ ゼスンと申します。今日は留学生の十勝地域国際交流及び活性化法案について発表させていただきます。

私の自己紹介から始めたいと思います。私は2010年に大学入学して2012年からは空軍で2年間国務しました。空軍で勤務している時期に日本で1度留学してみたいと思い、日本語能力試験1級を1人で勉強して取得しました。その後2015年には帯広畜産大学の交換留学に選抜されて、1年間2016年まで帯広畜産大学で交換留学をしました。その時、畜産大学の研究環境がとても優れていたと思い、2017年に卒業した後、また帯広畜産大学の研究生に出願して合格し、今は畜産大学で修士の資格として勉強と研究をしております。今日のスライドは2つのセクションがあります。まずは、留学生と十勝地方の国際交流、もう一つは国際交流の活性化法案について発表します。

まずは留学生と十勝の国際交流です。帯広畜産大学の留学生は2018年の基準で77名が居ます。この数は、北見工業大学96人、小樽商科大学67人の平均より少し低いと思います。しかし帯広にはTIRC・ジャイカなどいろんな国際交流団体と機関があるので他の地方より国際交流には恵まれている環境だと思います。次は、国際交流の活性化法案について説明したいと思います。国際交流のメリットの広報です。国際交流は、世界中いろんな文化圏から来た人たちと交流することによって、より広い視野を持つこともでき、より高い包容力を身に付けることができます。そして彼らが母国に帰国した後も、各国の人たちと人的ネットワークを築くこともできます。そして彼らは基本英語でコミュニケーションをとっている為、英語の会話の練習や学習、もしくは彼らの母国語の会話の練習などにも役に立つそのメリットがあります。

しかし今まで、いろんな国際イベントのポスターを見ましたが、国際交流の広報にはあまりメリットが記載されてなかったように感じます。この国際交流のメリットは両面性があります。留学生たちもこのメリットを受けることができるということです。私が交換留学に来た時、日本語能力試験

一級を持っていましたが、そこで使った単語や文法は、普段使われている会話とは全く違っており、始めは話したりする事が難しかったです。しかし、ジャイカなどのイベントに参加して色々な方とコミュニケーションを取ることで、普通に日本語で話すことができるようになりました。なので、留学生向けの広報が必要だと思います。

次は、言語障壁です。国際交流イベントに参加している日本の方によく聞いているのですが、留学生の9割以上は日本語を話せず、英語が彼らの母国語しか話せないことが分かりました。彼らに少しブロックイングリッシュを話を掛けても、どこが不適切なのか彼らは全くわかりません。なので、文法が間違っているても良いですし、気軽に彼らとコミュニケーション取るとはあまり問題ないと思います。

結論を言うと、国際交流のメリットの広報と、言語を気にせず彼らとコミュニケーション取ることによって心理的な障壁も無くす事ができると思います。

## スリランカ ペルポラゲ サマンティ ワトゥサラ 様 (生物資源科学専攻)



こんばんは。私はスリランカから来ましたサマンティと申します。今まで帯広で4年間ぐらい住んでいました。私は畜大の博士の3年生です。私は日本語があまり得意ではありませんのでどこか上手く言えなかつたらすいません。グーグルの助けを求められるかもしれません。

では、畜大の留学生達が世界のどこから来たのか見てみましょうか。ここにみられるように大多数はアフリカ人とアジア人ですね。私も南アジアのスリランカから来ました。畜大の留学生は帯広大学留学生協会に所属しています。私たちは大学の国際協力、ジャイカ、ロータリークラブ、帯広市役所と協力しています。

今日のトピック、帯広の繁華街に留学生があまり見られない、いくつかの理由を見てみましょう。留学生コミュニティと地域コミュニティがお互いを知る機会があります。だから彼らはほとんどシャープに分類されている。何度も地元の人々と出会ったのち、次回のミーティングは非常にまれです。時々私たちの存在が見落とされているようにも感じます。

私たちは日本語を学ぶのが大好きです。でも私たちの行為は自分自身を表現するために限られています。何度もグーグル翻訳者が助けに来ます。うちの娘ちゃんの友達や両親と一緒に話す時も、保育園でも病院でもそしてほとんどの場所で、翻訳が必要です。レストランでもメニューを理解し、注文することが課題です。写真なしのメニューは悪夢です。いつも同じ場所で同じ食べ物を食べます。新しいものを食べたい。でも何が何なのかを理解することが難しい。あとキャンペーンがあっても知りません。時々レストランの労働者は、入り口で私たちに会えてショックを受けているようです。あれを見て、できるだけ早く逃げてしまいたいと思います。レストランでの予約を自分でするのも難しい。日本語での会話は私もわからないものがいっぱいあります。日本人に英語を使うのが怖いのもかもしれません。日本人の友達がいなければ不快に感じるのです。

繁華街を楽しむことが出来ない理由は沢山あります。例えば、イベントの情報が届かない。どこで何がいつある

のかは人に聞いて分かることができます。コミュニケーションも難しいです。日本人の友達が居ない時には繁華街に行けないのです。

帯広市は私たちの快適ゾーンになりました。これを改善するために何ができますか?ソーシャルイベントにもっと招待してください。あった時に言語と文化のギャップを狭める事が出来るでしょう。英語を話すことを躊躇しないでください。英語は母国語ではありません。レストランでは、料理の写真入れた方がいいかも。あと漢字なしでひらがなやカタカナで書いた方が、要約をする時のシステムとしても簡単です。

イベントの営業の発表を畜大やジャイカでやってください。電話やEメールからも、畜大の留学生たちに連絡できます。イベントだけで終了だけと言わず、イベントの後でも、どこかで会った時には話してください。イベントの5分後、知らないと言われた経験があります。それは本当に悲しいです。私たちは、日本と日本人が大好きです。帯広市の人たちは、特に親切で思いやりがあります。障壁になるのは言語だと思います。直すことは少ないけど、とても重要です。私はあなたの使命で、あなたを助けてくれたと思います。今日はこの機会に、どうもありがとうございます。

## 伊東 肇 国際奉仕委員長

はい。ということで自分が想像していたよりも色々意見を頂きましたが、集約できる場所もあったかと思えます。こういう場っていうのはなかなか質問も出ないとは思いますが、せっかくの機会なので何かあれば、「俺が毎月スポンサーになって招待してやる!」っていう話でもいいのですが・・・会長1つくらい・・・。

## 佐藤 聡 会長

ありがとうございます。たまたま外国に行った時に、あるスポットのPRはしているけども、そこに行く手段だとかがわからなくて行きたくても行けないって言う経験は多分みんな知っている。自分たちが少し特殊なのかと思ったら、皆さんから見たら親切的な帯広もやっぱりその程度で、話には聞いたスポット的な情報あるけども、その情報の発信量も少ないけれどもそこにどうやって行くの?どれぐらいかかるの?どんなことをやっているの?と言う情報が少ないのでいろいろなところのチャンネルを使って畜大の生協などに一生懸命情報出して、そして気軽にその中からあなたたちがピックアップをしてみんな集まって出てくるような時間の中で、地元の人方と楽しい交流が出来るような環境を作っていくように頑張りますので、もう少々お待ちください。ありがとうございます。

## 伊東 肇 国際奉仕委員長

ありがとうございます。帯広で出来ていないから帯広だけがと言うわけではないですが、せっかく畜産大学が近くにあり、国際交流がとりやすい環境なので、英語の文法や使い方を気にせずにどんどん話しかけてコミュニケーションを取っていかれたらと思います。北見工業大学北海道大学とかもあります。この会場にいる我々としては何か国際交流のきっかけになるのではないかと思います。最後にまたこの3名に拍手をして終了したいと思います。